

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '桜川市後援承認事務' and '市民協働のまちづくり'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on support procedures and costs.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for '後援使用申請団体数' and '桜川市人口'.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table with 7 columns: 29年度(実績), 30年度(実績), 01年度(計画), 02年度(目標), 03年度(目標), 期間限定総投入量. Includes '事業費' and '正規職員従事人数'.

Table with 4 columns: 30年度事業費実績(千円), 01年度事業費予算(千円), 合計, 0. Includes '事業費の内訳'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 01年度の事業内容, 02年度の事業内容, 03年度の事業内容. Includes a list of activities like '市長マニフェスト' and '未来PJ事業'.

事務事業名	桜川市後援承認事務	事務事業No.	60102000742	所属課	総務課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成17年の町村合併により誕生した桜川市において、市の名義を使用する基準を判断して公正に運営することを目的としてある。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 後援を受けたイベント等は、信用性・公共性が高くなったと評価を受けている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	利用の機会のある方への制度の認知をより広める。 併せて、制度利用の手続きの簡易化等により利用率の向上を図る。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	市の名義を使用することにより、行事等の信用性が向上するとともに市のPRにつながることは、施策の市民協働のまちづくりにつながる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市の名義の使用承認は市の固有の権利であり、承認の認定は市が行わなければならない。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	申請に基づく承認事務であり向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民の活動に対する後援であり、廃止・休止はできない。 廃止することで、参加者の安心感が減る可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他に手段はない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	承認事務は人件費のみであり、事業費の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民全体や各種団体に対する事業であり公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																												
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	申請数が増加してきており、制度が周知されてきていると思われる。 制度の周知及び手続きの簡略化の検討については今後も継続して行ってきたい。																												
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																												
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td colspan="2">(複数回答可)</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td><td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/> 有効性の改善</td><td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/> 統廃合ができる</td><td><input type="checkbox"/> 連携ができる</td></tr> </table>		(複数回答可)		<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td colspan="4">コスト</td></tr> <tr><td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr> <tr><td rowspan="2">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">×</td></tr> <tr><td>低下</td><td style="text-align: center;">×</td><td style="text-align: center;">×</td><td style="text-align: center;">×</td></tr> </table>		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	×
(複数回答可)																														
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																													
<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																													
<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																													
コスト																														
	削減	維持	増加																											
成果	向上																													
	維持	○	×																											
低下	×	×	×																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																												
		成果優先度評価結果	◎																											
		コスト削減優先度評価結果	-																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>